

第18回 おひさまの会の報告

2012, 7, 14

講演会「自分の将来について考えるためのヒント」

講師：横浜市教育委員会 南部学校教育事務所

指導主事室長 嶋田 優先生



講師 嶋田優先生

嶋田先生から「子どもの実態を知る」「子どもの願いや思いを知る」「進路選択の実態」「キャリア教育について」「自分を発揮するために生き方をつくる」の五本柱で約1時間半、ご講演をいただきました。

参加者は26名、子育ての終わった方、幼稚園児をお持ちの方と様々でした。

お話を伺いながら「大人は今、子ども達に何をすべきか」を考えさせられる貴重な時間でした。

先生のご講演の中で「この5年間で、どの学校段階においても『将来なりたい職業』が『ある』と答える割合が減少している。将来の夢を持ってなくなっている子ども達に「特性を生かすことが生きがいに通じる。焦ることはない。焦ることなく自分は何を目指しているか考えていくように大人はアドバイスしていきたい。子どもが大人と接したときこんな人生もいいねと感じてくれるような向き合い方をしたい」とおっしゃっていたことが大変印象に残りました。

✕ 以下に講演の一部と嶋田先生にいただいた資料の一部をご紹介します ✕

- この5年間で、どの学校段階においても「将来なりたい職業」が「ある」と答える割合が減少しており、特に高校生において、減少の割合が大きくなっている。
- 身近なところで幸せを求めている。高い達成意欲は抱かずに内向き。
- 安定志向、エコ思考。自分のやりたいことにこだわるより、安定を求めて現実的に考える傾向。
- 社会的な成功や国際的な活躍を望む意欲をもたない子どもの増加。
- 現在、高等学校等への進学率約98パーセント
(生徒の能力・適正・希望等の多様化)



○「キャリア教育」を実践している野庭中学校ブロックの実践の紹介

2日間の職業体験をした中学生は具体的な物を見聞きすることで、真剣に学ぼうとする姿があった。

また、地域の人としての社会性を学んだ。

参加者の感想

- もう子育ては終わった身ですが、次世代を担う子ども達の今を知るにはとても勉強になるお話しでした。目標をもてない子ども達の実態、特に年齢があがるにつれ、現実的になってくるのは、この混迷化している社会の責任とも言えるのではないのでしょうか。キャリア教育を行っている横浜の中学校の実践ががよくわかり、大変興味深く拝聴することができました。大人たちがいかに子どもに関わるかで、子ども達の将来の展望が少しでも開けていくのならば、私たち大人ももっと努力しなければいけないと思いました。
- 地域で学援隊活動をしています。確かに講師の先生の報告のように挨拶や声の出ない子どもが多いです。私達も地道に子ども達に声をかけ続けなければと思いました。おひさまの会に参加するのは2度めですが、もっと多くの若い親たちが今日のような話を聞くとよいのにと痛感しました。
- もっと具体的にいろいろお話ししたかったです。問題はいろいろあるけれど、各所で、各所の各々が考え、行動していけばいいのかなと思いました。
- 現在の子どもの事情がよくわかりました。本人がどう幸せに生きていくかを考え、それには職業をどう選べばいいのかをさらに考えるという点で、日常もそこに結びつけるようコツコツといけたらいいなあと思いました。勉強になりました。
- 初めて参加させていただきました。嶋田先生のお話がおもしろくとてもためになりました。子どもに接する方法やキャリア教育の重要性を理解しました。今日はとても勉強になったのでよかったです。
- 中1の娘がおります。職業体験を通して「なりたい職業」「理想の大人像」が少しも見えてきて欲しいと期待しています。有り難うございました。

次回のおひさまの会は「ビーズ細工を楽しもう」です。

9月29日(土) 2:00~4:00

記録：佐藤